

日本気管食道科学会より

『頭頸部癌に対する咽頭喉頭（頸部食道）摘出術・遊離空腸再建後の胸部食道癌の手術成績に関する全国調査』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

頭頸部癌と食道癌は共通するリスク因子を有しているため、異時性に重複することがあります。頭頸部癌術後の食道癌手術はリスクが高いと考えられていますが、まとまった報告はありません。学会主導で、本状況での食道癌手術の我が国での実態を調査するために、カルテデータを用いた全国多施設共同研究を行います。

➤ 研究（調査）の方法

2010年1月1日から2020年12月31日において、咽頭喉頭（頸部食道）摘出術・遊離空腸再建後の食道切除を施行された患者さんのカルテデータから個人情報を除いた必要な情報を抽出し、中央集計したのち解析を行います。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学会認定専門医研修施設（必要に応じ食道外科専門医認定施設）

➤ 調査期間

研究承認日～2024年3月31日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

本研究は個人情報を除いたカルテデータを用いた臨床研究であり、新たな負担や不利益は一切ありません。

➤ この調査への協力は任意です。

本研究にご自身のカルテデータを用いられることを希望されない患者さんは主治医にその旨をお伝えください。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：渡邊雅之（がん研究会有明病院 消化器外科・食道外科）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F
E-mail : jbes@kishoku.jp